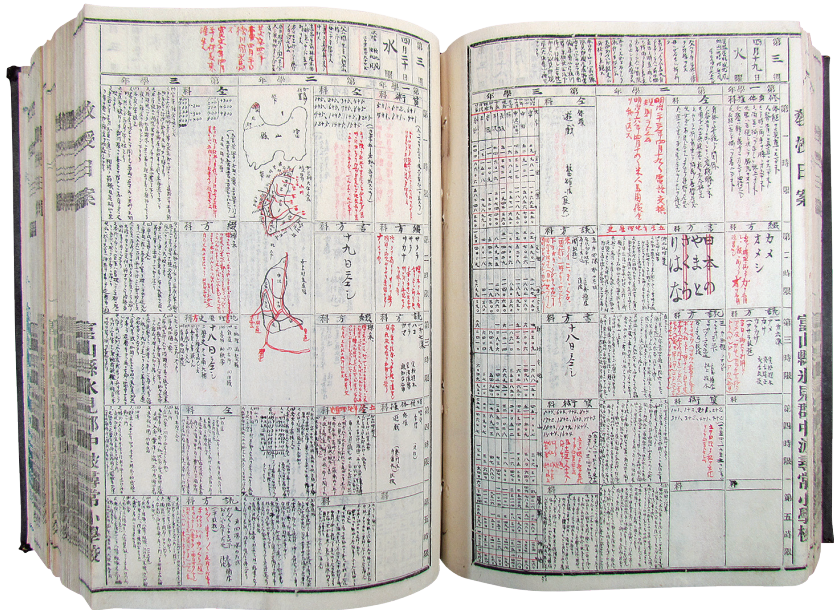


第1巻

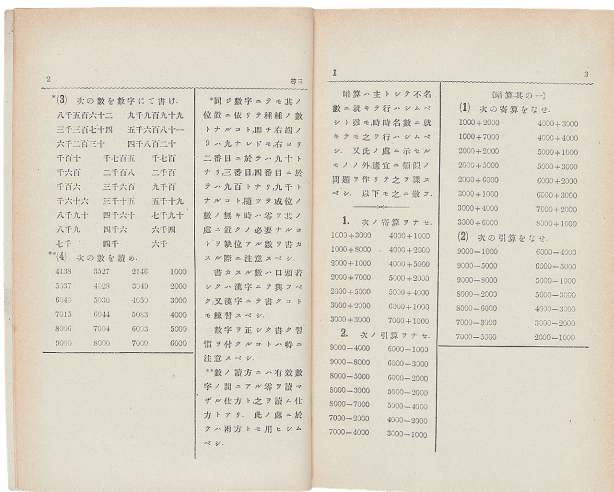


第5巻

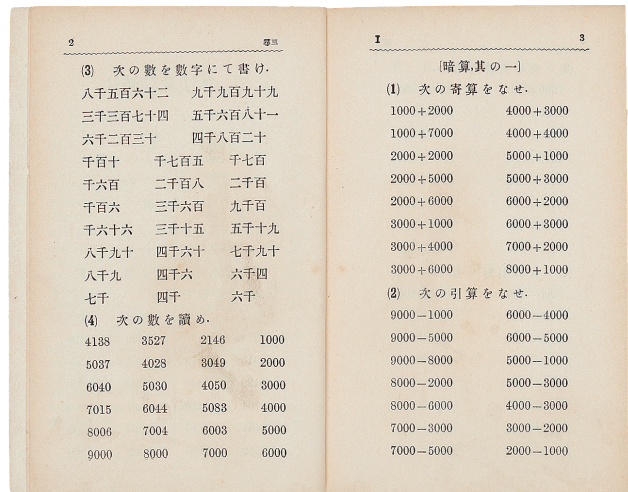
教授日録 (第1巻・第5巻)

資料は、氷見中波尋常小学校 (のちの旧氷見市立女良小学校) に訓導として勤務した丸山弥三左衛門氏が残した明治26年(1893)から約30年間に及ぶ記録です。全9巻にわたって、毎日・毎時の学年別・教科別の指導計画や行事、考査問題、出席簿、成績等が記されており、本展では、第1巻(明治26~30年)と第5巻(明治42~45年)を展示しています。見開き箇所は、考査問題(第1巻)と日常の授業記録(第5巻)です。

富山県教育記念館所蔵



教師用



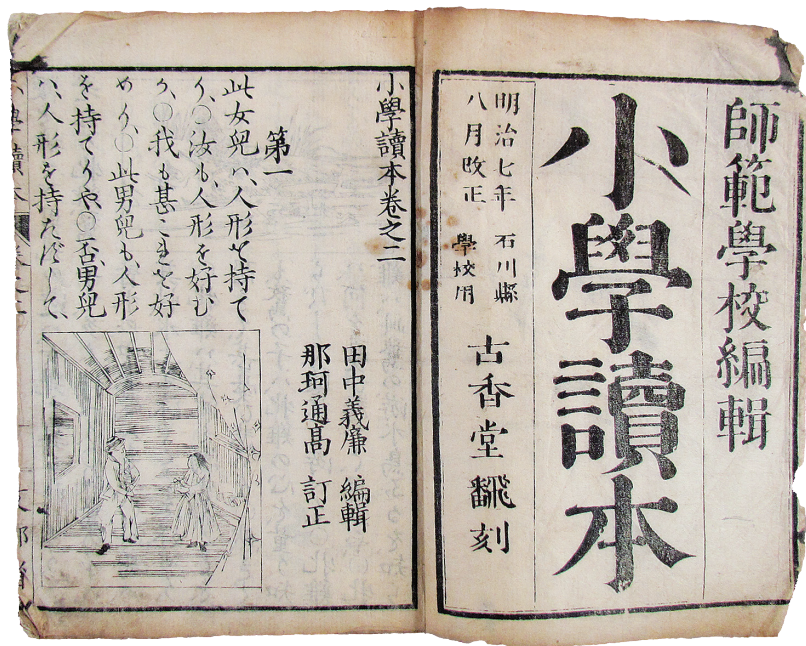
児童用

尋常小学算術書 (教師用・児童用)

明治43年(1910)に出版された、尋常小学校第三学年用の算術の国定教科書です。教師用の教科書には、児童用教科書にはない凡例と教授方法の記載があります。凡例にはこの学年で習熟を目指す範囲が示され、各ページには教授方法のコツや注意点が書かれています。

請求番号:ヨ375-0052・0053

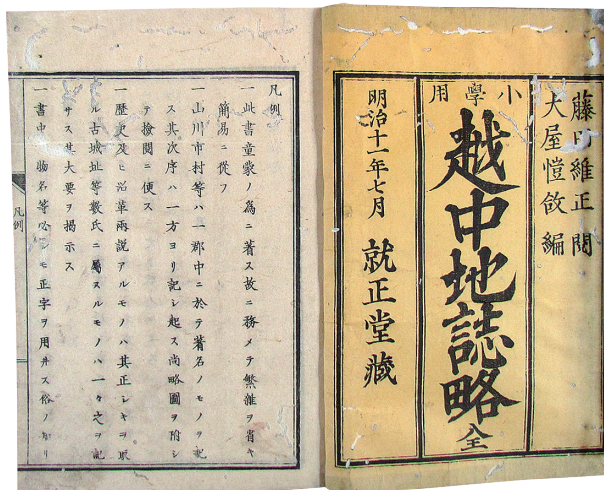
国立公文書館所蔵



『小学讀本 卷之二』(師範学校編輯 石川県学校用)

明治6年(1873)、文部省は師範学校に編集させ、日本初の小学校国語読方教科書『小学讀本』(田中義廉編、全4巻)を刊行しました。内容は、アメリカの教科書『ウィルソン・リーダー』の翻訳を多く含み、明治7年の改訂では、不自然な直訳を改め、我が国の実情を踏まえ、挿絵を含めて全体的に修正されました。多くの府県で教科書として広く普及しました。各地で翻刻が許されており、資料は、明治7年に石川県で刊行されたものです。

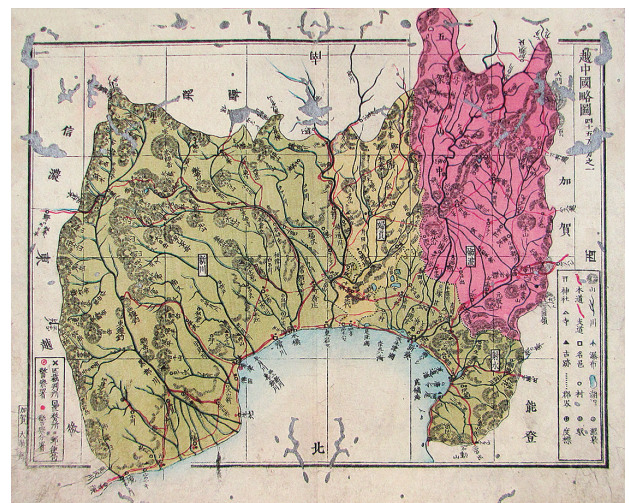
整理番号：羽馬家・六五-1  
羽馬家文書 富山県公文書館寄託



『越中地誌略』

資料は、明治時代の小学校で地理読方の教科において、郷土の地誌を学ぶために使用された教材『越中地誌略』(『加賀地誌略』『能登地誌略』と併せた三部作うちの一つ)です。まず、越中国全体の地理、気候、産業、沿革を概観したうえで、新川郡・婦負郡・射水郡・砺波郡の順に、同様の事項について列挙し、説明する内容となっています。特に各郡中において著名な山や川、町について、詳細な説明が記述されています。

佐伯家文書 富山県公文書館所蔵



越中国略図(45万分の1、『越中地誌略』付録)

資料は、左の教材『越中地誌略』の付録の地図です。教材の本文の記述に対応させて、新川郡・婦負郡・射水郡・砺波郡中において著名な山や川、町の名前などを地図中に掲載し、児童の理解を促す地図となっています。

佐伯家文書 富山県公文書館所蔵